No.567 1月15日号

広報ひらつか

人口　254,161人
世帯　88,976世帯
（平成7年12月1日現在）

平成8年1月15日／毎月1日・15日発行／102,500部／神奈川県平塚市役所発行
編集・企画部広報広聴課／〒254　平塚市浅間町9番1号　電話23—1111・35—1111

写真はいずれも昨年夏の防災訓練から

災害に強いまちづくりを

阪神・淡路大震災から一年。政府は一月十七日を「防災とボランティアの日」と定め、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深め、災害への備えを充実強化するよう訴えています。災害時に被害を最小限に食い止めるためには、一人一人の日ごろの備えと冷静な行動が欠かせません。市でも一月十七日に実戦型防災訓練を実施しますが、市民のみなさんもこの機会に避難や安否の確認方法など防災対策について、ご家庭で話し合ってください。

日ごろの備えが大切

◆家庭で防災会議を

みなさんのご家庭では、家具の転倒やガラスの飛散を防ぐ対策はしてありますか。非常持ち出し品の準備はできていますか。

大地震が発生したときに被害を最小限に食い止めるためには、私たち一人一人の日ごろの備えと冷静な行動が欠かせません。

ぜひ、もう一度防災対策についてご家庭で話し合ってください。

▽話し合いのテーマ（例）
・地震発生時の各自の役割
・消火器など消火の備え
・家族間の連絡方法
・避難場所の確認
・避難経路の安全確認
・非常持ち出し品の確認
・家具転倒防止対策や家庭内の整理整とん
・お年寄りや乳幼児、病人などの避難方法
・地震情報の入手方法
・地震情報の入手方法

◆情報はナパサで

市では、FM湘南ナパサ（78・3メガヘルツ）と災害時の広報活動に関する協定を結んでいます。大地震などが発生した場合、ナパサの放送に割り込み、災害対策本部から様々な情報をお伝えします。現在、毎週月曜日の午前九時五十分過ぎに緊急割り込みの試験放送を行っています。

災害時には、いろいろなデマが流れますので、ラジオやテレビから正しい情報を聞くように心がけてください。

自主防災の取り組みを

◆拠点基地の備蓄は

災害時に拠点基地が設置される市内二十五か所の小中学校には、ろ水機や発電機、土のうやスコップなどさまざまな資機材が備蓄されています。

さらに、昨年夏には阪神・淡路大震災を教訓として、それまで平塚球場と消防旭出張所に備蓄してあった災害用トイレや長期保存食、毛布やカセットコンロ・ボンベなどを、拠点基地が開設される小中学校に分散し備蓄しました。

そのほかにも、市内には約六千本の街頭消火器を設置しています。

◆私たちのまちは私たちで守ろう

これらの資機材や街頭消火器は、市民のみなさんに災害時の救出救護や初期消火活動用として使っていただくための備えです。

災害時には、電話の不通や道路事情の悪化などにより都市機能が分断され、防災機関による救出救護・初期消火活動などに支障が出る恐れがあります。そのような状況で、被害を最小限に食い止め、災害による被害からいち早く立ち直るためには、地域ぐるみの協力体制が欠かせません。

阪神・淡路大震災では、「家の下敷きになった人が近所の人たちの手で救出された」「みんなでバケツリレーをして延焼を食い止めた」などの例が報告されています。

「私たちのまちは私たちで守る」という強い連帯感を持って、災害に強いまちづくりを進めていきましょう。

1月17日実戦型訓練を実施

一月十七日(水)午前九時三十分から正午まで、大神の相模川河川敷にある市民スポーツ広場と、田村にある消防総合訓練所を会場に、防災訓練が実施されます。

参加するのは、日中家庭にいる女性のみなさんで組織されている「女性防災リーダー」をはじめ、市と防災に関する協定を結んでいる機関やライフラインを受け持つ企業など様々です。

阪神・淡路大震災では、一部のボランティアが食事や宿泊所、装備品等を行政に要求し、逆に災害対策に支障を来してしまった例も報告されています。その教訓を生かし、今回の訓練は装備品はもちろん、すべて各機関の自前による自発的な参加となります。

当日は、相模川の水をくみ上げて中継し消火する訓練や、ヘリコプターによる救出救護訓練など、阪神・淡路大震災の教訓を生かした実戦的な訓練を計画しています。

見学は自由ですので、ぜひご来場ください。

▽問い合わせ先　防災課（内線357）

地震防災計画を見直し

市では「市民とともにつくる大地震にも揺るがないまち　ひらつか」を目指して、地震防災計画の見直しを進めています。

市民のみなさんや防災関係機関などからご意見をいただきながら、昨年末には改正指針をまとめました。

今後は、この指針に基づき、今年秋を目途に新計画を策定します。

▽問い合わせ先　地震防災計画室（内線638）

地域拠点基地設置場所

太洋中学校、港小学校、花水小学校、なでしこ小学校、富士見小学校、崇善小学校、松原小学校、八幡小学校、大野小学校、真土小学校、大野中学校、中原小学校、南原小学校、神田小学校、城島小学校、豊田小学校、岡崎小学校、金田小学校、旭小学校、金目小学校、土屋小学校、横内小学校、山下小学校、みずほ小学校、吉沢小学校

各拠点基地には市職員が配備され、情報の収集・伝達、救援・救護活動、自主防災組織との連絡調整、防災資機材の貸し出しなどを行います

市民豆ルポ　おじゃまタイム　32　話題の人たち

ボランティアで公園を彩る

市内で最も美しい公園のひとつ、なでしこ公園。その花壇を管理運営しているなでしこフラワーボランティアを取材しました。取材は三浦一男さん（唐ケ原）

なでしこ公園は、テーマを「人・水・緑・出会いの広場」として平成六年七月に完成しました。この公園が、第十一回都市公園コンクールの管理運営部門で建設事務次官賞に輝き、昨年十月二十七日に表彰を受けました。

この公園の花壇を、いつも美しく管理されているのが、なでしこフラワーボランティア（鈴木三郎会長）のみなさんです。

この団体は平成七年三月に発足、公民館だよりなどで募集し現在会員は三十六人いられます。月一回の定例会では、会員のみなさんが花壇の草取りや掃除などをしています。

このグループの活動で特にすばらしいのは季節により、色とりどりの花が咲くように管理していることです。春植えはサルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ビオラ、カワラナデシコ、秋植えはノースポール、チューリップ、スイセン、フリージア、パンジー、葉ぼたんなどで、その数は春・秋ともに一万本以上となります。昨年の秋は、パンジーを花文字となるように配しほかにノースポール、葉ぼたんに絞って植え付けしました。会員の熱心な管理で春にはすばらしい花が見られることでしょう。

みなさんは、勉強会なども続けており、他地域の同様のボランティアとも交流して平塚市を花と緑の豊かなまちにして行きたいと語っておられました。

最後に受賞の感想を伺ったところ「オープンして日も浅いこの公園が受賞できたのは、市をはじめ公園を管理している各団体の協力のおかげです。これからも受賞に恥じない活動に努めます」と話されました。

手入れ作業の合間に記念写真を

17議案を可決
12月定例市議会の結果

生活インフォメーション

十二月一日開会された市議会十二月定例会は、十二月二十二日審議を終え閉会しました。

今議会では、「市長の資産等の公開に関する条例」など十七議案について審議・裁決を行い、すべて原案どおり可決しました。また、初日に提案された平成六年度の一般会計・特別会計の決算については、先例にならい継続審査としました。

主な議案は、次のとおり。

◆政治倫理の確立のための平塚市長の資産等の公開に関する条例

「政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律」が施行され、市長の資産等の公開について、国会議員の資産等の公開に準じた措置を講ずることとされたため制定するもの。

◆平塚市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の抜本的な改正と今後の廃棄物行政の課題に対応し、資源が循環して利用される社会づくり、生活環境の保全、並びに公衆衛生の向上を図り、良好な都市環境を確保することを目的に制定するもの。

◆平塚市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例

平成五年四月の改定以来据え置いている公共下水道使用料について、維持管理費の増加、資本費を構成する市債の元利償還金等の増大による一般会計からの繰出金の過重負担を回避し、適正な下水道事業の財源確保を図るため、平均三七・九%の引き上げ改定を行うもの。

第2期分の埋め立て用地を確保するための工事が進められている遠藤原一般廃棄物最終処分場。ごみを減らすため、資源が循環利用される社会づくりが求められています

第2次 行政改革大綱を策定

市では今後行政改革を進めていくにあたっての基本的な考え方や、取り組みの重点を示した「第二次行政改革大綱」を策定しました。

この大綱の策定にあたっては、市民や学識経験者の意見を反映させるため「平塚市行政改革をすすめる懇話会」(座長・荒木昭次郎東海大学教授)を設置。行政全般にわたり議論を重ねていただき、昨年十一月には「第二次行政改革推進本部」(本部長・吉野稜威雄市長)に対し提言を出していただきました。今回決定した大綱は、この提言の趣旨を尊重し、市議会の意見を踏まえ決定されたものです。

なお、詳しい内容は広報ひらつか二月十五日号でお知らせします。

◇基本理念

地方自治の本旨に基づき住民福祉の向上のため、地方公共団体として自主性・自律性を強化しつつ、市民の理解と協力を得て、常に公正で能率的・効率的な行政運営に努力していかなければならない。

◇主な取り組み内容

・市民と行政が力を合わせて共通な課題に取り組む、市民参加を一歩進めた形の「市民と協働した行政運営」

・市補助金の整理・合理化のための補助基準等の設定

・総合的、合理的な施策の推進を図るための組織・機構の見直し

・地震防災体制の見直し

・審議会等附属機関見直しのための委員選出基準等の設定

・時代の変化や市民の生活意識に対応できる職員の能力開発と意識改革

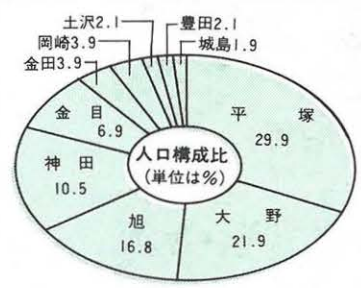
◇今後のスケジュール

今回決定した大綱に基づき、平成十年度までの三か年の実施計画を今年三月を目途に策定し、具体的に実施していく。

なお、実施計画の推進状況を懇話会に定期的に報告し、市民に公表する。

※担当　企画調整課（内線323）

国勢調査の結果速報



平成七年十月一日現在で実施された国勢調査の結果によると、平塚市の人口は二十五万三千八百十八人（男十二万九千六百二十一人、女十二万四千百九十七人）となっています。これは、前回の調査（平成二年実施）より七千八百六十八人、率にすると三・二%の増加となります。

地区別では、増加率が最も高いのは金田地区で一四・三%、次いで旭地区の九・三%、岡崎地区の六・七%の順となっています。

また世帯数は八万八千七十一世帯で、前回より六千三百六十一世帯、率では七・七%増加しました。一世帯あたりの人数は二・八六人で、初めて三人を割った前回の調査より、さらに〇・一三人少なくなっています。

申し込み、問い合わせは市役所へ

・電話　23―1111、35―1111（内線番号を交換手へ）

・住所　浅間町9番1号（担当課名のご記入を）

教育委員会で奨学生を募集

教育委員会では、高等学校に進学する学生に対して奨学金制度を設けています。支給を希望される方は二月十四日（水）までに在籍（出身）中学校に申請を。

▽支給条件　次のいずれにも該当していること　①平塚市民である　②市内の中学校を卒業し、今年高等学校に進学する　③学資の支払いが困難である　④学業成績と品行が良い　⑤ほかの奨学金を受けていない（生活福祉資金、母子福祉資金は除く）

▽支給額　月額一万円

▽問い合わせ先　学務課学事係（内線532）

二輪車安全運転競技大会を開く

二輪車の事故防止と運転技術の向上を図ることを目的に、二輪車安全運転競技大会が開かれます。

対象は市内にお住まい、お勤め、または通学している二輪車（原付を含む）の運転免許証をお持ちで二輪車（原付を含む）を持ち込める方です。

申し込みは一月十六日から交通安全課で受け付けます。ぜひ、ご参加ください。

▽日時　2月18日(日)午後1時～4時

▽会場　荒井自動車学校花水校（長持310番地）

▽定員　50人（先着順）

▽申し込み先　交通安全課（内線255）

福祉会館まつり競技の結果

福祉会館まつり競技部門の結果は次のとおりです。（敬称略）

▽ゲートボール大会（参加24チーム）

・優勝　中原、準優勝　下島A、3位　松が丘

▽囲碁大会（参加43人）

・福祉名人戦優勝　本田光男(ふじみ野)、福祉本因坊戦優勝　香川延久(南金目)、福祉碁聖戦優勝　阿久津三吉(平塚二丁目)

▽将棋大会（参加44人）

・福祉名人戦優勝　廣田一彦(片岡)、福祉竜王戦優勝　原田登(明石町)、福祉王将戦優勝　米谷平四郎(御殿)

人権作文の結果

全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会が行われ、市内からは渡辺泰裕君（大野中二年）の作品が金賞に選ばれたほか、十九人が銅賞に入賞しました。応募総数五万二千百八編。

臨時看護職員の募集

職種　看護婦

資格　看護婦免許取得者で採用時現在40歳未満の方

勤務場所　市民病院

賃金　時給1,110円

申し込み　市民病院庶務課☎32―0015（内線3197）へ、履歴書と看護婦免許の写しを本人が直接持参する。

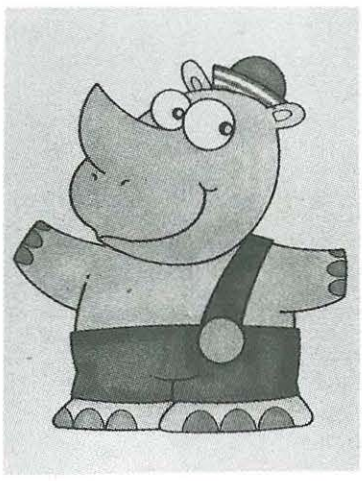
締め切り　1月26日（金）

生活HOT NEWS

ごみ減量化・資源化

市では、ごみ減量化・資源化を推進するシンボルとして動物のサイをデザインしたキャラクターを作成し、その愛称を募集しています。

これは、平塚市ごみ減量化婦人の会から「ごみ問題を市民に啓発するためのキャラクターを選定したら」との提案があり、同会と市が協力して取り組んできたものです。希少動物として国際的に保護されているサイを選んだのは、資源リサイクルの「サイ」、再利用の「サイ」、ごみを生み出さないプレサイクルの「サイ」などにちなんでいます。



キャラクターの愛称募集

愛称をつけてくだサイ

今後、愛称が決まり次第ごみ減量化・資源化を啓発するポスターやチラシ、ステッカーなどに使われることになっています。

応募資格は市内にお住まい、お勤め、または通学している人。応募は、はがきに愛称名、本人の住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先（学校名）を記入して、二月十日（土）までに環境衛生業務課へ。

なお、応募作品は個人の創作した未発表のもので、一人三点までに限ります。

◇**応募・問い合わせ先**　環境衛生業務課(内線239)

市民相談

市民相談室(市役所)☎(23)1111(内線293)

◇人権法律相談・行政相談　1月16日(火)、2月6日(火)13時～16時

◇一般法律相談　毎週水曜日13時～16時、予約制

◇登記供託測量相談　2月9日(金)13時～16時

◇住宅相談　1月16日(火)、2月20日(火)13時～16時

◇発明考案特許相談　2月5日(月)10時～15時

◇下請取引相談　1月18日(木)13時30分～16時

◇労働相談　2月8日(木)13時～16時

◇年金社会保険労災相談　2月13日(火)10時～15時

◇消費生活相談　毎週金曜日9時～16時

◇手話案内相談　毎週金曜日9時～12時30分

◇一般市民相談　毎週月～金曜日9時16時

青少年相談室（市民センター）☎(34)7311

◇青少年相談　毎週月～金曜日9時～16時

◇悩みごとは"ヤングテレホン"☎(33)7830　毎週月～金曜日9時～18時30分(土曜日は13時～18時30分)

もしもし健康相談(保健センター)☎(34)1221

毎週月・木曜日10時～16時

福祉会館☎(33)2333

◇専門(法律、金融、住宅、医療)相談　2月8日(木)13時30分～15時30分、予約制

◇生活支援相談　毎週月～金曜日8時30分～17時

◇ボランティア相談　毎週月～金曜日8時30分～17時

◇結婚相談　毎週日曜日10時～15時(第3日曜日は除く)

◇母子相談　毎週月～金曜日9時～16時

◇家庭児童相談　毎週月～金曜日9時～16時

◇婦人相談　2月8日(木)10時～15時

◇高齢者職業相談　毎週月～金曜日9時30分～16時

子ども教育相談センター(崇善小学校北側)☎(36)6012

毎週月～金曜日9時～17時

◇電話相談　毎週月～土曜日9時～17時(第2・第4土曜日を除く)

子育て相談室(須賀保育園2階)☎(21)7639

毎週月～木曜日9時30分～16時(木曜日は12時まで)

市・県民税の申告を

2月1日から受け付け

問い合わせは
市民税課（内線271）へ

市・県民税の申告の受け付けは、二月一日(木)から始まります。三月に入ると窓口が混雑しますので「申告書の書き方」や「前年の控え」などを参考にして早めに申告をしてください。

◆申告が必要な人は

平成八年一月一日現在、市内にお住まいで、税務署へ所得税の確定申告をする必要がない次の人です。

▽昨年中に給与・事業・農業およびそのほかの所得があった人
▽大工・左官などの日雇い賃金のあった人
▽年金や恩給などのあった人

なお、平成八年一月一日現在、市外にお住まいの人でも市内に家屋敷や店舗、事務所等を所有している人は申告が必要となります。

◆給与所得者で申告の必要な人は

▽市・県民税が給与から天引きされず、個人で納付する人。ただし、勤務先から給与支払報告書が市に提出されている場合は不要
▽二か所以上から給与を受けている人や、給与以外にも所得がある人で確定申告をする必要がない人
▽昨年中に退職して、その後就職していない人
▽源泉分離課税を選択している株式の配当所得のある人
▽国民健康保険被保険者となっている人

◆申告が不要な人は

▽税務署へ確定申告する人
▽給与所得者でほかに収入がなく市・県民税が給与から天引きされている人

◆保険料などの控除は

昨年中に病気などで多額の医療費を支払ったり、国民健康保険税や生命保険料などを支払った場合は、申告により控除されます。

◆申告に必要なものは

▽申告書と印鑑
▽源泉徴収票か給与明細書など
▽収入経費の分かる帳簿や支払調書、領収書など
▽昨年中に支払った医療費の領収書や生命保険料の支払証明書など

◆申告はお早めに

市・県民税の申告の受け付けは二月十六日以降大変混み合います。申告はお早めにお願いします。

◆巡回の申告受付と相談

市・県民税の申告は、市役所市民ホール以外に次の会場でも受け付けます。

▽日程・会場
・2月20日(火)神田公民館
・2月21日(水)豊田公民館
・2月22日(木)吉沢公民館
・2月22日(木)城島公民館
・2月23日(金)金田公民館
・2月27日(火)旭北公民館
・2月28日(水)金目公民館
・2月29日(木)岡崎公民館
▽時間　午前9時～11時30分（ただし、城島公民館は午後2時～4時）

◆申告の説明会

県・市・平塚税務署合同の申告説明会が開かれます。

▽日時　2月1日（木）午後2時～4時
▽会場　ひらつかスカイプラザ会議室（MNビル11階）
▽内容　所得税、消費税、事業税、住民税の申告書の書き方

確定申告の準備を

問い合わせは
平塚税務署☎22―1400へ

◆申告の必要な人は

▽事業所得や不動産所得などがある人で、各種の所得金額の合計が扶養控除などの所得控除額を超えている人
▽給与所得のある人で
・平成七年中の給与の収入金額が二千万円を超える人
・給与以外の所得が二十万円を超える人
・給与を二か所以上から受けている人

◆還付を受ける人は

サラリーマンで医療費控除、住宅取得等特別控除などのある人や源泉徴収された所得税が納め過ぎの人は還付を受けるための申告ができます。

還付申告は一月から税務署で受け付けていますので、お早めに申告を。

◆所得税の特別減税

平成七年分の所得税について、次のような人は確定申告によって特別減税が適用されます。

・給与収入金額が二千万円を超える人
・年の途中で退職し年末調整を受けなかった人や、退職所得のある人
・事業所得や不動産所得のある人など

※特別減税額は、所得税額の15％相当額（最高五万円）が控除されます

◆所得控除の改正

配偶者控除や扶養控除の対象となる人の合計所得金額の要件が三十八万円以下に引き上げられました。

◆無料相談のご利用を

税理士会平塚支部では、次の日程で確定申告の無料相談を行います。

▽還付相談
・日程　2月5日（月）、6日（火）
・時間　午前9時30分～12時、午後1時～3時30分
▽小規模事業者の相談
・日程　2月16日（金）、19日（月）、20日（火）
・時間　午前9時30分～12時、午後1時～3時30分
※会場はいずれもひらつかスカイプラザ会議室（MNビル11階）

中央公民館特別講座が

中央公民館では、特別講座として行う次の二つの講座の受講生を募集します。

申し込みは、はがきに希望講座名（スペイン料理は希望日）、住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先を記入して一月三十一日（水）までに中央公民館（〒254平塚市追分1―20・☎34―2111）へ。申し込み多数の場合は抽選となります。

◆石仏に親しむ

▽日程　2月20日、27日、3月12日、19日、26日の全5回
・時間　午後1時30分～3時30分（最終日のみ午前10時～午後3時）
▽定員　60人
▽教材費　三百円

◆スペイン料理

▽日程　3月1日、9日、23日（3回とも内容は同じ）
・時間　午前11時～午後3時
▽定員　24人
▽教材費　三百円

1月26日は文化財防火デー

一月二十六日は昭和二十四年に法隆寺金堂の壁画が焼損した日にあたります。そのため、この日を文化財防火デー（文化庁・消防庁）と定め、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が展開されています。

市でも、毎年この日にあわせて国や県、市の指定となっている数多くの重要文化財の保存方法等が防火基準にあっているか検査を行っています。文化財は長い歴史の中を受け継がれてきた貴重な遺産です。私たちは、これを保存し、後世に伝えていかなければなりません。

私たち一人一人が文化財を大切にし、災害から守るよう心がけましょう。

住宅用地の変更は

土地にかかる固定資産税のうち、住宅の敷地として使用されている二百平方㍍未満の宅地の課税標準額は六分の一となり、二百平方㍍を超える宅地の課税標準額は三分の一となります。次に該当する土地の所有者は二月一日までに申告を。

▽対象　①平成7年1月2日～平成8年1月1日に農地・山林等を転用し、または住宅用地以外の宅地から住宅用地となったもの　②前記と同じ期間に住宅用地から非住宅用地となったもの
▽問い合わせ先　資産税課土地係（内線288）

道路は非課税

公衆用道路として使用されている土地の所有者は、その道路部分を分筆し、登記が完了したときに市に届け出をしてください。

調査のうえ要件を満たす土地に限り翌年度から非課税扱いとなります。

▽問い合わせ先　資産税課土地係（内線288）

特別土地保有税の申告を

▽対象　①1月1日現在、市内に一千平方㍍以上の土地、または市街化区域内に三百三十平方㍍以上の一団の土地の所有者（申告納付期限は5月31日）　②1月1日または7月1日を基準日として、基準日前1年間に合計で市内に一千平方㍍以上の土地を取得した人（申告納付期限は2月末日または8月30日）
▽問い合わせ先　資産税課土地係（内線290）

家屋を壊した場合は

家屋（物置や車庫などを含む）を壊した場合は必ず連絡を。そのままにしておくと、引き続き課税されることがありますのでご注意ください。

▽問い合わせ先　資産税課家屋係（内線287）

償却資産の申告

市内に償却資産を所有している人は、毎年一月一日現在の償却資産を一月三十一日までに申告していただくことになっています。

▽対象　土地・家屋を除く事業用有形資産（備品・工具・機械装置など）で、その減価償却費が所得計算上損金、または必要経費として算入されるもの。ただし、自動車税、軽自動車税が課せられている車両は除く
▽問い合わせ先　資産税課償却資産係（内線291）

市民アナウンサー募集

広報広聴課では、ケーブルテレビの市民チャンネルで放送している市の広報番組「こんにちは市役所」で番組制作のお手伝いをしていただく市民アナウンサーを募集します。

▽応募資格　市内にお住まいの18歳以上の未婚の女性（高校生は除く）
▽仕事の内容　毎週水曜日の午後に行う番組収録時に市からのお知らせ等をアナウンスする
▽募集人数　2人
▽応募方法　市販の履歴書に必要事項を記入して、1月31日(水)までに広報広聴課(内線315)へ本人が直接持参する

1月納期の市税・手数料

◆対象税等
・国民健康保険税　（第8期）
・国民年金保険料　（第10期）
・清掃し尿従量手数料　（第10期）

◆納期最終日 1月31日(水)

市政モニターを募集

市政モニターは、市民のみなさんと市とのパイプ役です。仕事の内容は、市民のみなさんからのご意見・ご要望を市にお寄せいただくことや、広聴パトロールに参加していただくことなどです。お気軽にご応募ください。

◇**応募資格**　市内にお住まいの20歳以上の方（国・地方公共団体の常勤の職員、公職選挙法による公職にある方、国・県の同じような目的のモニターをされている方を除きます）
◇**募集人員**　20人
◇**任　　期**　平成8年4月1日から2年間
◇**応募用紙**　各地区公民館、市役所市民相談室・広報広聴課で配布しています
◇**申し込み**　応募用紙を郵送で広報広聴課あてお送りいただくか、広報広聴課、または各地区公民館にお持ちください。締め切りは2月29日(木)。
◇**申し込み先**　広報広聴課　（〒254平塚市浅間町9―1・☎23―1111内線355）

嘱託員・作業員の募集

◆産休者等の代替えの嘱託保母　…5人程度
・対象　昭和26年4月2日～昭和51年4月1日の間に生まれた保母の資格を有する女性
※合格後は雇用待機者として登録された後、5年以内に職員の欠員状況等により必要に応じて順次雇用される

◆市社会福祉協議会「嘱託保健技術員」　…1人
・対象　昭和14年4月2日以降に生まれた保健婦または看護婦の資格を有する人

◆市社会福祉協議会「嘱託給食調理員」　…1人
・対象　昭和31年4月2日以降に生まれた調理師の資格を有する人

◆市開発公社「霊園管理作業員」　…1人
・対象　昭和11年4月2日～昭和16年4月1日の間に生まれた男性

応募方法

応募は、市販の履歴書に必要事項を記入し、写真をはって1月22日(月)までに本人が直接職員課に提出する。

1次試験は2月10日(土)。

問い合わせ先

職務内容や雇用期間、賃金などについての問い合わせは職員課（市役所3階・☎23―1111内線322）へ

平塚市職員の給与状況

ホット HOT ほっと

給与と財政状況を公表

財政課(内線353)では、平成七年度上半期の財政状況を公表しました。市の財政は、市民のみなさんに納めていただいた税金を主体として、国や県の支出金、競輪事業の収益金、市債（借入金）などによって運営されています。この公表は、市民のみなさんに市の財政状況を知っていただくため、毎年六月と十二月に行っているものです。また、職員課（内線322）では、職員の給与費等の状況を公表しましたので併せてお知らせします。

◇職員給与状況表の見方

①1表、2表については、全国的に比較しやすい普通会計によっています。
②3表、6表、7表については、自治省の給与実態調査資料による一般行政職に技能労務職を加えています。
③8表については、全職員をベースにしています。

1．人件費（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口(年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率(B／A)
平成6年度	平成7年3月31日 251,696人	千円 74,457,201	千円 5,626,205	千円 18,413,002	% 24.7

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含む。

2．職員給与費の状況（普通会計予算）

区分	職員数A	給与費			計B	一人当たり給与費(B／A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
平成7年度	1,905人	千円 7,970,375	千円 2,854,161	千円 4,233,243	千円 15,057,779	千円 7,904

※①職員手当には、退職手当を含まない。②給与費は、当初予算に計上された額。

3．職員の平均給料月額および平均年齢の状況（平成7年4月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
平塚市	349,236円	41.0歳	325,524円	46.8歳
国	297,346円	38.7歳	273,208円	47.9歳

4．職員の初任給の状況（平成7年4月1日現在）

区分		平塚市		国		
		決定初任給	採用2年経過日給料月額	決定初任給		採用2年経過日給料月額
一般行政職	大学卒	177,300円	190,800円	I種 II種	180,500円 167,200円	193,900円 180,500円
	高校卒	148,600円	163,500円	III種	136,500円	145,900円
技能労務職	22歳(甲表)	163,500円	177,300円	—		—

5．職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成7年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	266,600円	309,300円	365,200円
	高校卒	219,300円	266,600円	327,100円
技能労務職	22歳就職	233,400円	293,000円	332,900円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用され、引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいう。

6．一般行政職等の級別職員数の状況（平成7年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	技労職
標準的な職務内容	主事補 技師補	主事	主任	副主査	係長 主査	課長補佐 副主幹	課長 課長代理	部長 参事	技能職 労務職
職員数	56人	186人	96人	95人	170人	248人	221人	76人	550人
構成比	3.3%	10.9%	5.7%	5.6%	10.0%	14.6%	13.0%	4.5%	32.4%

※平塚市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名をいう。

7．特別昇給の状況

区分		合計	一般行政職	技能労務職
平成6年度	職員数（A）	1,685人	1,134人	551人
	普通昇給期間を短縮して昇給した職員数（B）	40人	27人	13人
	比率（B)／(A)	2％	2％	2％

8．職員手当の状況

区分		全職種
特殊勤務手当	職員全体に占める支給対象職員の割合	69.9%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額(6年度決算)	227,023円
	手当の種類（手当数）	36種類
	代表的な手当の名称……医師手当、清掃作業手当、現場作業手当、下水道施設作業手当、災害等出動手当	

（平成7年4月1日現在）

区分		平塚市	国
扶養手当	配偶者	16,700円	16,000円
	配偶者以外の扶養親族のうち2人まで	6,800円	5,500円
	配偶者のない職員の扶養親族のうち1人	11,200円	11,000円
	その他の扶養親族	2,000円	2,000円
住居手当		32,200円限度	27,000円限度
通勤手当		交通機関利用者実費 片道1.5km以上	45,000円限度 片道2km以上

時間外勤務手当	6年度決算	支給総額	1,097,960千円
		職員1人当たり平均支給年額	425千円

区分		平塚市	神奈川県
調整手当	支給対象地域	全地域	全地域
	支給率	10%	10%
	支給対象職員	全職員2578人	—
	支給対象職員1人当たり平均支給年額（6年度決算）	423,174円	—

区分		平塚市（平成6年度支給割合）		国（平成6年度支給割合）	
		期末	勤勉	期末	勤勉
期末・勤勉手当	3月期	0.52月分	—	0.5月分	—
	6月期	1.65月分	0.6月分	1.6月分	0.6月分
	12月期	2.0月分	0.6月分	1.9月分	0.6月分
	計	4.17月分	1.2月分	4.0月分	1.2月分

区分		平塚市		国	
		自己都合	勧奨・定年	自己都合	勧奨・定年
平成6年度退職手当 支給率	勤続20年	21.0月分	35.28月分	21.0月分	28.875月分
	勤続25年	33.75月分	45.36月分	33.75月分	44.55月分
	勤続35年	47.5月分	62.7月分	47.5月分	62.7月分
	最高限度額	62.7月分	62.7月分	60.0月分	62.7月分
	その他の加算措置	定年前早期退職特例措置（3～15%加算）		定年前早期退職特例措置（2～20%加算）	
	退職時特別昇給	勤続10年以上20年未満…1号給 勤続20年以上……2号給		退職時特別昇給…1号俸	
6年度退職手当職員1人当たり平均支給額(6年度決算)(全職種)		自己都合	勧奨・定年	—	
		1,227千円	27,566千円		
平均勤続年数		5.9年	36.6年		

我が家の防災対策を確認

脱出口を確保しておこう

地震が発生し、激しい揺れが起こると、ドアや窓が変形して開かなくなり、避難できなくなることがあります。

身の安全が確保できたら、揺れの合間をみて脱出口を確保しましょう。特に、出入口の少ないマンションや団地などは注意しましょう。

被害を最小限に食い止めるため、日ごろから「いざ」というときのことを考えておきましょう。

・担当　防災課
☎23-1111（内線357）

平塚市・東海大学交流10周年記念事業

◆パネルディスカッション

交流にかかわりの深い分野から、交流に対する希望、大学や行政・市民の在り方を述べ、これからの時代の交流の方向を模索します。入場自由

・**日時**　1月29日(月)
　午後1時30分～3時30分
・**会場**　ラスカホール
　駅ビル「ラスカ」6階
・**基調講演**「地域と大学の交流について」宮坂琇子東海大学教授
・**パネルディスカッション**「地域と大学で行うまちづくりについて」

◆市民・大学交流コンサート

・**日時**　2月16日(金)
　午後6時～7時15分
・**会場**　平塚市議会議場
・**出演**　市民グループ「平塚フィルハーモニー管弦楽団」、東海大学「管弦楽研究会」
・**応募方法**
　はがきに住所、氏名、電話番号を記入して企画調整課へ申し込む。定員は120人。希望者多数の場合は抽選

◆申し込み・問い合わせ先

企画調整課（〒254平塚市浅間町9－1・☎23-1111内線323）

平塚市の財政状況

平成七年度当初予算の全会計の合計は、一千四百四十億一千三百六十八万六千円でした。その後、一般会計で土地開発公社貸金、道路新設改良事業、街路事業、公園整備事業等で八十八億二千万円余り、特別会計では競輪事業会計で実績補正等の四十二億六千万円余り、下水道事業会計で七億八千万円余りなど合計百四十億一千六百八十三万六千円を追加補正しました。

これらの補正額等を加えた九月末日における全会計の予算総額の合計は、一千五百八十二億九千五万九千円となります。これは、前年同期と比べると約三・〇%、四十九億八百十八万円の減となります。

なお、一般会計の九月末日の予算総額は七百五十九億八千三百五十五万三千円で、前年同期に比べ約三・七%の増となっています。

平成７年度の主な事業（万円単位に四捨五入）

〔生活・福祉環境づくり〕
- 仮称南部福祉会館等複合施設建設事業（6～8年度継続）　25億1,269万円
- 老人福祉施設入所委託経費　9億5,946万円
- 遠藤原一般廃棄物最終処分場第２期整備事業（6～8年度継続）　8億3,633万円
- 仮称万田デイサービスセンター建設事業　3億6,944万円
- ごみ収集経費　3億6,239万円

〔産業・経済環境づくり〕
- 漁港整備事業・利用調整事業・漁港事業関連対策経費　8億6,621万円
- 中小企業金融対策経費　5億685万円
- 勤労者金融対策事業　4億7,500万円

〔教育・文化環境づくり〕
- 相模小学校校舎改修事業　6億7,000万円
- 生徒用教育パソコン導入関係経費　2億2,298万円

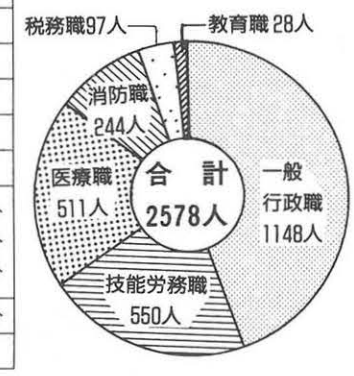
〔都市環境づくり〕
- 下水道事業　132億4,932万円
- 都市計画街路整備事業（八幡神社土屋線、仮称日向岡トンネル等）　27億1,401万円
- 公園用地取得事業（金目親水・なでしこ・真土大塚山等）　18億2,824万円
- 幹線道路整備事業　5億2,620万円
- 狭あい道路整備事業　4億3,572万円
- 真土一ノ域公園整備事業　3億5,587万円
- 真土大塚山公園整備事業　2億5,010万円

〔そ　の　他〕
- 競輪場整備事業　8億2,990万円

9．特別職の報酬等の状況（平成7年4月1日現在）

区分		平塚市	
給料（月額）	市長	1,016,000円	
	助役	842,000円	
	収入役	735,000円	
報酬（月額）	議長	621,000円	
	副議長	545,000円	
	議員	505,000円	
期末手当（6年度支給割合）	市長	3月期	0.5月分
	助役	6月期	2.21月分
	収入役	12月期	2.6月分
	計		5.31月分
	議会関係も同様の支給割合		

職員数（7年4月1日現在）



10．定員の状況

（部門別職員数の状況・各年４月１日現在）

部門	職員数 平成５年	平成６年	平成７年
一般行政部門	1225人	1255人	1265人
特別行政（教育、消防）部門	644人	645人	649人
公営企業等会計（病院、下水道事業、競輪場等）部門	645人	660人	664人
総計	2514人	2560人	2578人
条例で定められた職員定数	2610人	2610人	2610人

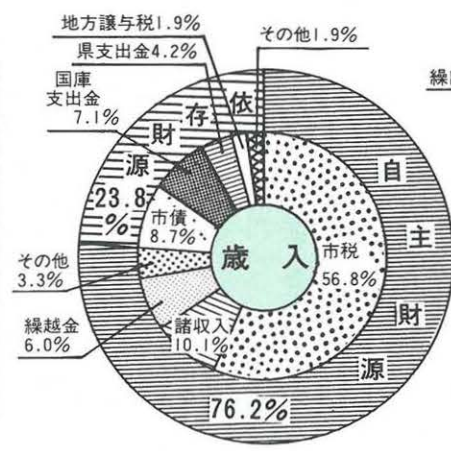
職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いている。

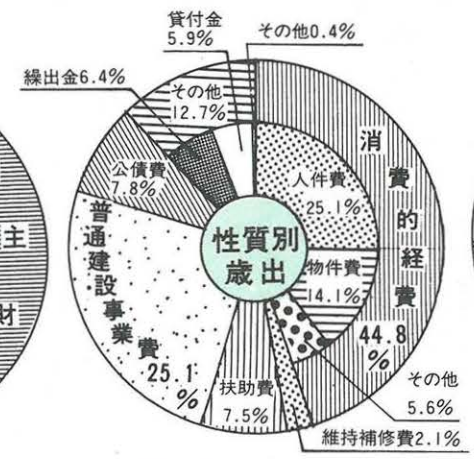
平成７年度各会計別予算

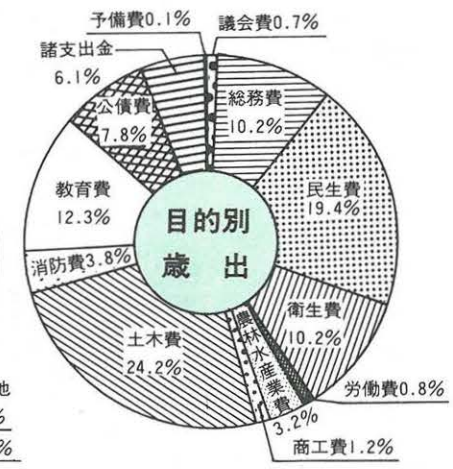
（７年９月末現在）

会計別	予算額（万円単位に四捨五入）
一般会計	**757億2,402万円**
特別会計	**711億3,750万円**
・競輪事業会計	333億　106万円
・国民健康保険事業会計	115億7,573万円
・都市改造事業会計	0万円
・下水道事業会計	132億4,932万円
・都市施設用地取得事業会計	7億3,757万円
・食肉センター会計	8,400万円
・交通災害共済事業会計	6,254万円
・水産物地方卸売市場事業会計	2,220万円
・総合公園用地取得事業会計	8億　672万円
・老人保健医療事業会計	112億9,836万円
病院事業会計	**111億6,900万円**
合計	**1,580億3,052万円**

一般会計予算内訳（75,724,016千円）







市税	市債	民生費	衛生費	農林水産業費	土木費	消防費	教育費
95,493円	26,100円	58,077円	30,603円	9,595円	72,537円	11,485円	36,757円

市民１人当たりの予算と負担

（市税・市債は９月末日現在の負担額を、その他は９月末日現在の予算額を人口で割ったもの）

催し物コーナー

美術館

☆みる・きく・はなす美術鑑賞

常設展示作品を使って美術鑑賞を行います。この美術鑑賞は参加したグループのメンバーが作品を言葉で説明したり対話して進めていきます。
- 期日　２月13日（火）、27日（火）、３月16日（土）、23日（土）
- 時間　９時30分～11時と11時～12時30分
- 会場　常設展示室およびアトリエＡ
- 対象　一般の方で３人以上10人以下のグループ
- 申し込み　１月30日（火）までに往復はがきで（多数抽選）

☆ワークショップクラブ

「植物から生まれる色」メンバー募集

これまでのワークショップ参加者を中心に資料の調査や講義、実習を行う研究会です。
- 日程　１月27日（土）、２月３日（土）、３月９日（土）、20日（祝）、４月６日（土）20日（土）の全６回
- 時間　13時～16時30分（予定）
- 会場　アトリエＢ
- 対象　藍（あい）、紅花、茜（あかね）に興味があり染色などの経験がある方
- 定員　20人程度
- 教材費　2000円程度
- 申し込み　１月20日（土）までに往復はがきで（多数抽選）

☆市民アートギャラリー

【平塚市医師会文化祭（絵画・写真・陶芸）】
- 期間　１月18日（木）～23日（火）

【アッセンブリッジ展II（絵画）】
- 期間　１月17日（水）～23日（火）

【山口幸恵油絵展（油絵）】
- 期間　１月24日（水）～30日（火）

【坪井賀子展（絵画）】
- 期間　１月31日（水）～２月６日（火）

【労金子供書き初め展（書）】
- 期間　２月２日（金）～４日（日）

【波の子造形研究所作品展（絵画）】
- 期間　２月７日（水）～13日（火）

【島村令章写真展「遠い森の記憶」（写真）】
【ユキ油絵グループ展（油絵）】
- 期間　２月14日（水）～20日（火）

◇休館日　毎週月曜日
◇美術館
〒254　西八幡１－１－３　☎35－2111

博物館

☆プラネタリウム

「赤外線の大目玉－すばる望遠鏡」
- 期間　３月３日（日）まで

☆寄贈品コーナー

「講のつどい」
- 期間　１月30日（火）まで

「天文部門」

95年の観測の成果を紹介します。
- 期間　２月１日（木）～28日（水）

☆星を見る会

「月と金星をみよう」
- 日時　１月26日（金）19時～20時
- 会場　博物館屋上（科学教室集合）
- 参加　自由（曇り、雨天中止）

☆冬の自然観察会

- 日時　１月28日（日）12時30分～16時30分（雨天中止）
- 場所　酒匂川河口付近
- 定員　30人
- 申し込み　１月20日（土）までに往復はがきで（多数抽選）

☆自然観察ゼミナール

「冬芽入門」
- 日程　２月３日（土）、17日（土）、４月７日（日）
- 時間　14時～16時
- 場所　２月３日は博物館、そのほかは総合公園
- 対象　小学校５年生以上で３回とも参加できる方
- 定員　30人（多数抽選）
- 申し込み　１月25日（木）までに往復はがきで

☆漂着物を拾う会

- 日時　２月10日（土）９時30分～11時
- 集合　花水川橋平塚側たもと（雨天中止）

◇休館日　毎週月曜日
◇博物館
〒254　浅間町12－41　☎33－5111

図書館

☆ビデオ映画会

※会場は中央図書館です

「イソップ物語６話（北風と太陽、キツネとツルほか）」
- 日時　１月21日（日）10時、14時

「ききみみずきん、一休さん」「ベートーベン、ワット」
- 日時　１月28日（日）10時、14時

「家なき子、アンクルトムの小屋」
- 日時　２月４日（日）10時、14時

☆資料の特集

「特集　世界の国々」

世界の国々に関する資料を特集。
- 期間　１月25日（木）～２月７日（水）
- 会場　中央図書館貸出室、こども室参考室

◇休館日　毎週月曜日、１月16日（火）
◇中央図書館
〒254　浅間町12－41　☎31－0415
◇北図書館
〒254　田村5155－１　☎53－1232
◇西図書館
〒254　山下760－３　☎36－3555